



ハマギク咲く阿字ヶ浦駅 (10/20)

# おらが湊鐵道応援団報

第103号  
勝田 | 阿字ヶ浦



## 「駅名標」がグッドデザイン賞に輝く!

工業製品などの優れたデザインに贈られる2015年度のグッドデザイン賞(日本デザイン振興会主催)に湊線10駅の駅名標が選ばれたことが9月29日に発表されました。同賞の約60年の歴史の中で駅名標の受賞は初めての快挙です。駅名標は10月30日~11月4日まで東京ミッドタウンで開催される「グッドデザインエキシビション2015」で広く公開されます。この駅名標を考案したのはデザイナーの小佐原孝幸さん。小佐原さんは海浜鉄道が誕生した翌年の2009年(平成21年)8月の第1回みなとメディアミュージアム(MMM)の中で制作しました。一見、わかりにくい文字はかえって見る人を惹きつけるとともに、各駅の特徴や付近の名所をよく表現していることから、以来、湊線の顔として定着し、昨年の高田の鉄橋駅開業前に併せてデザインが一部リニューアルされました。小佐原さんは毎年開催されるMMMではアートディレクターも努め、現在も湊線とこの地域に深く関わっています。

受賞決定以来、湊線を訪れた人たちがこの駅名標を併せて一緒に撮影する姿をよく見かけます。各駅の駅名標とその由来が書かれた「みなとまちなか漫遊Map」は那珂湊駅に常備されていますのでぜひご覧ください。

那珂湊駅のデザインは反射炉・日本初のステンレス気動車・駅猫 →



## 最終運行へ「キハ2004」

### 車輦入れ替えへ準備進む

昭和41年製造で、留萌鉄道から44年に湊線に移籍したキハ2004が、最終運行を続けています。10月18日には「さようなら旧車」のヘッドマークを付けてファンに最後の勇姿を見せました。



10月15日



10月18日

キハ2004の車内は冷房無しで床は板張り。クリーム色に赤いラインの入った旧国鉄準急色の塗装で、昭和を感じさせるレトロな気動車として鉄道ファンに人気がありました。しかし、老朽化から今年4月末にJR東海などから購入したキハ11と入れ替えるため引退が決まりました。

海浜鉄道が保有する昭和37年から41年製造の「旧型車」は4輛ありましたが、相次ぐ引退で今後営業運転を続けるのはオレンジとクリーム色の塗装のキハ205のみとなる予定です。また、運転席の旋回窓が特徴の青とクリーム色のキハ222は、湊線を代表した旧型車として静態保存されます。

海浜鉄道では今後、新しく購入したキハ11型3輛を、湊線オリジナルのキハ3710型車輦3輛と合わせて主力車輦とする考えです。キハ11型は改良工事と試運転が続けられており、早ければ11月中旬に営業運転に入る予定です。

## ■いよいよ11月7日から「スリーナイン」公演

東京・墨田区の劇団「シアターキューブリック」が、湊線の運行車内で那珂湊を舞台にした演劇を11月7・8・14・15日の4日間に計10回公演を行います。前売券は4,500円で那珂湊駅と同劇団のHPで販売しています。これに先立ち、10月26日から、公演を記念したヘッドマーク掲出車輦が運行されます。詳しくは<http://www.qublic.net>へ。



## 車内が納豆食堂に変身

10月17日、今年で4回目になる県納豆工業組合主催の納豆列車が湊線を走りました。那珂湊駅ホームでの出発式には湊中吹奏楽部やみなとちゃんも参加しました。車内では水戸の梅大使らの案内で用意された納豆とご飯に思い思いのトッピングをして茨城の味を堪能しました。

## ■「和奏」が初めてのコンサート

毎年年初日の出列車の乗客に笛と和太鼓の演奏を披露してくれる和奏(わか)の初のコンサートが10月31日(日)、那珂湊駅北側の「百華蔵」で開かれます。演奏は午後2時半と6時半からの2回、これに先立ち2時過ぎから那珂湊駅ホームでも演奏をします。

## ■東北ローカル鉄道フェア

10月31日と11月1日に市総合運動公園で開催される産業交流フェアで、東北ローカル鉄道フェアとして、秋田内陸縦貫鉄道、由利高原鉄道、山形鉄道、会津鉄道の4社が海浜鉄道とともに鉄道グッズや名産品を販売します。お立ち寄りください。※MMMも参加します。

## ■中根駅からレンタサイクルで虎塚古墳

海浜鉄道では国指定史跡の虎塚古墳の秋季一般公開に合わせて、中根駅からのレンタサイクル無料貸出しを行います。期間は10月30日(金)から11月3日(火)と、11月6日(金)から8日(日)までの8日間。受付時間は午前8時30分から午後2時30分まで、勝田駅湊線窓口と那珂湊駅で自転車の鍵を借りて中根駅から利用ができます。保証金1,000円は鍵の返却時に返金されます。

## 各駅の清掃・環境整備 いつもありがとうございます

駅名	11月1日(日)	12月6日(日)
中根	柳沢美田多・相金・三反田班	
高田の鉄橋	柳が丘・関戸町・田中町自治会	
那珂湊	小川龍之口町	神敷台 部田野小谷金十三奉行
殿山	和田町・殿山町	七町目・牛久保町
平磯	平磯・平磯清水町自治会	
磯崎	磯崎町自治会	
阿字ヶ浦	阿字ヶ浦自治会	

各駅清掃は第1日曜日、朝8:30~8:50。中根駅は朝8:00~実施しています。

## ハマギク花壇整備 ありがとうございます



10月10日、咲き始めたハマギクを前にして那珂湊駅西側のハマギク花壇の整備が周辺自治会のみなさんで行われました。ハマギクは今、この花壇のほか阿字ヶ浦駅構内でも見頃を迎えています。

## 野菜と干物の朝市 毎月第一日曜日に開催

日時 11月1日(日) 午前9時~11時頃まで  
那珂湊駅1番線ホーム ※ホームへの入場は無料です。



## 湊線沿線の「いま」がわかる! 応援団facebookページ「いいね!」4,420名を達成しました!

- 【海浜鉄道関係】
  - ◇ホームページ <http://www.hitachinaka-rail.co.jp>
  - ◇ツイッター <http://twitter.com/minatoline>
- 【応援団関係】
  - ◇フェイスブック <http://www.facebook.com/MinatoLineSupporters>
  - ◇ツイッター <http://twitter.com/keha601>
  - ◇応援団HP <http://minatosen.com>(湊線どっと混む)

※「ひたちなか海浜鉄道」「おらが湊鐵道応援団facebook」でそれぞれ検索もできます。

## 「地域性」をデザインした湊線の駅名標



デザイナー 小佐原 孝幸さん

湊線駅名標がグッドデザイン賞を受賞しました。この駅名標は2009年に地域アートプロジェクトMMMで産声を上げ、2014年のリニューアルによってさらなる土地の魅力を取り入れ、このたびの受賞へと至りました。

湊線駅名標の字体は非常に独特に思えます。けれども文字のルーツを紐解いていくと、はるか以前、このような地域性をもった文字は、ごく当たり前に使われていた可能性が浮かび上がってきます。イメージを起点として誕生した象形文字には、そもそも地域性が備わっていたと考えるのが自然です。「木」という字ひとつとっても、土地に分布しているものが、広葉樹か、針葉樹かによって、おのずとその字体は異なっていたはず。しかし文字は、北の人が書いた文字を南の人も読むことができなくてはなりません。きつと全土に流通させる過程で、文字の地域性は、徐々に失われていったのかもしれない。そんな想像を沸き立たせて、この湊線フォント(字体)は生まれました。

「画一化した文字に地域性を取り戻す。」実はそんな裏テーマがこの駅名標の制作意図には潜んでいました。だから私は、今後地域に新しい名所が生まれたなら、それに合わせて対応する駅の図案も更新していいと考えています。きつとそうすることによって、鉄道から地域へ新たな道が引かれ、この駅名標は、土地とより密接に結びついていくものになるはずだからです。

## 駅名標を描いたポストカードを発売しています

応援団では湊線10駅の駅名標をスケッチしたポストカードの発売をしています。このポストカードは湊線絵手紙応援隊の協力を得て作成したもので、駅名標の文字の特徴が周囲の風景と共に描かれています。このほか2枚の絵手紙を加えて、価格は12枚組で800円。また、応援団員が撮影した人気の駅猫や旧型車のセット4種類(各5枚組)も350円で那珂湊駅窓口、または那珂湊駅応援団ブースで販売しています。



## 「乗車証明書」でおトク!

- ★乗車証明書は、湊線に乗車したお客様に駅員または応援団が発行する乗車特典のサービスです。証明書に参加店舗に提示することにより各店独自の優待が受けられます(スタンプ当日限り有効)。現在沿線100店(施設)近くが参加し、お買物や宿泊などで優待があります。
- ★サービスは乗車当日なら、何店でも利用できます。
- ★参加店は那珂湊駅待合室に置かれたチラシ、証明書に印刷されたQRコード、海浜鉄道HPまたは応援団facebookページでご確認ください。
- ★乗車証明書裏面に印刷されたQRコードで湊線時刻表と応援団facebookページも確認できます。
- ★乗車証明書は湊線フリー切符でも代用できます。

